

# 構想区域(案)について

平成28年3月17日

熊本県健康福祉部

# 構想区域とは

## 1. 構想区域の設定に関する基準（厚生労働省令）

構想区域の設定については、二次医療圏を原則として、人口構造の変化の見通しその他の医療の需要の動向並びに医療従事者及び医療提供施設の配置の状況の見通しその他の事情を考慮して、一体の区域として地域における病床の機能の分化及び連携を推進することが相当であると認められる区域を単位として設定するものとする。

## 2. 構想区域の設定に当たっての考え方（地域医療構想策定ガイドライン）

現行の二次医療圏を原則としつつ、あらかじめ、人口規模、患者の受療動向、疾病構造の変化、基幹病院までのアクセス時間の変化など将来における要素を勘案して検討する必要がある。

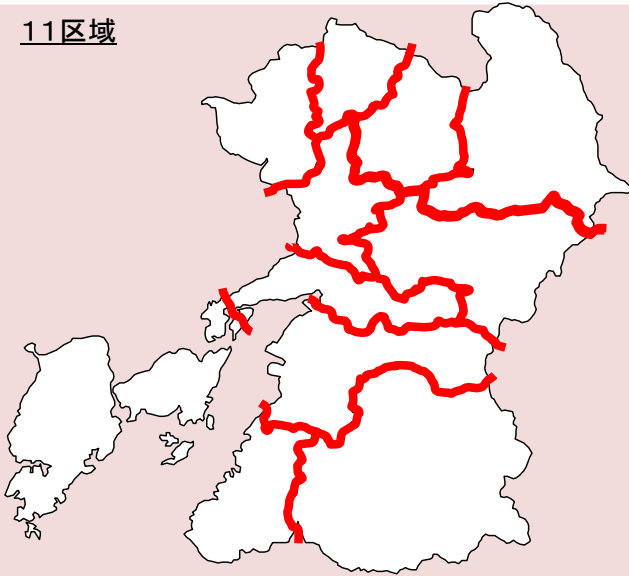
病床の機能区分との関係について、高度急性期は診療密度が特に高い医療を提供することが必要となるため、必ずしも当該構想区域で完結することを求めるものではない。なお、高度急性期から連続して急性期の状態となった患者で、同一機能の病床に引き続いて入院することはやむを得ない。一方、急性期、回復期及び慢性期の機能区分については、できるだけ構想区域内で対応することが望ましい。

設定した構想区域が現行の医療計画における二次医療圏と異なっている場合は、平成30年度（2018年度）からの次期医療計画の策定において、最終的には二次医療圏を構想区域と一致させることが適当である。

# 【構想区域(案:たたき台)】

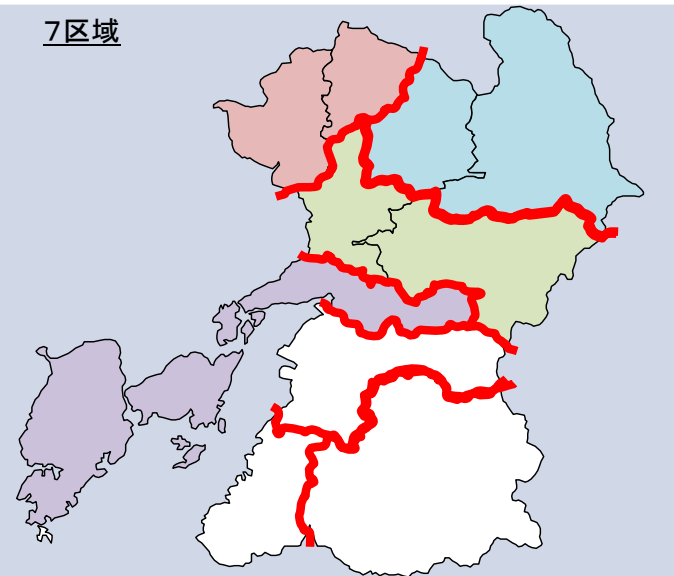
## A案《現行二次医療圏》

11区域



## B案《トリプル20基準該当なし》

7区域



## C-(1)案

[菊池+阿蘇]

[熊本+上益城]

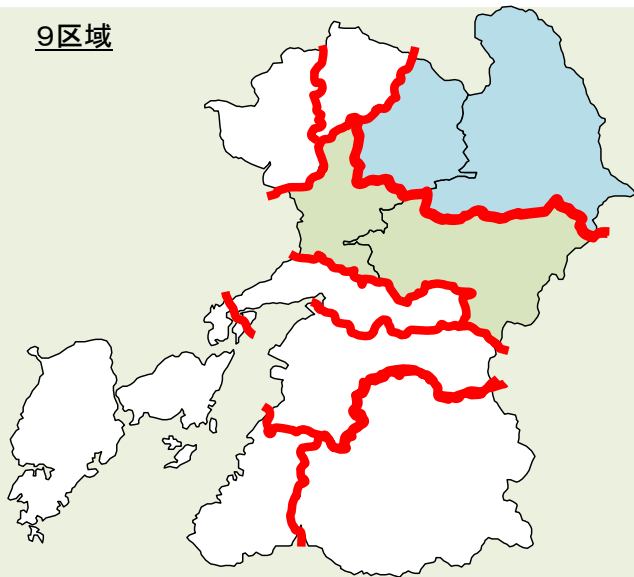
## C-(2)案

[菊池+阿蘇]

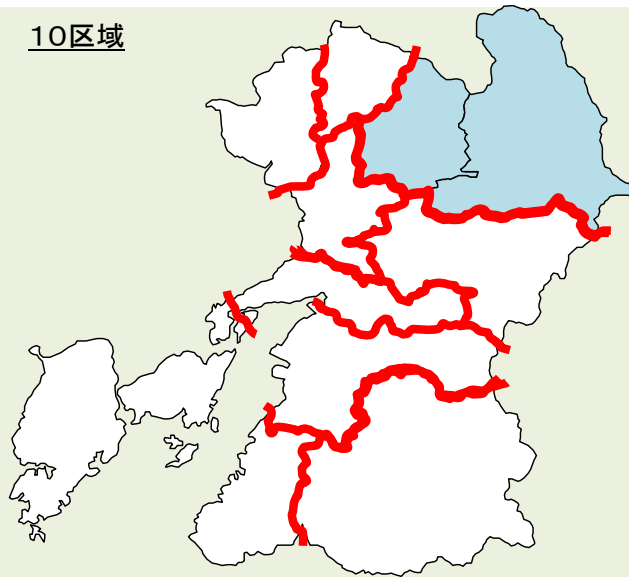
## C-(3)案

[熊本+上益城]

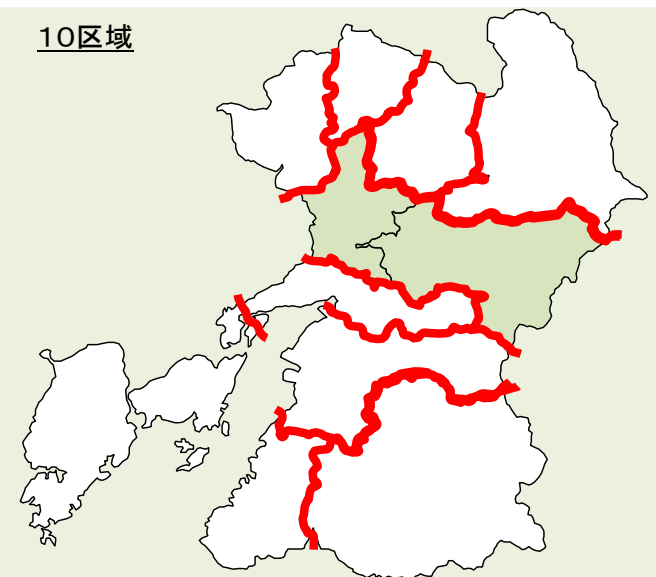
9区域



10区域



10区域



# 各地域における第2回地域医療構想検討専門部会の検討結果

※開催日順

- ①大方の方向性を「単独」で決定：8地域（菊池・鹿本・阿蘇・芦北・球磨・八代・有明・天草）  
 ②大方の方向性を「統合」で決定：1地域（上益城「熊本地域との統合」）  
 ③大方の方向性が「未定」で閉会：2地域（熊本・宇城）

日時	地域	構想区域(案)	大方の方向性	主な意見
H27.10.30(金) 19:00～	菊池	A:単独 B・C:阿蘇地域との統合	単独	・阿蘇地域より鹿本地域の方が医師会の取組み等につながりがある。 ・県全体でみた場合、二次医療圏の見直しが求められる阿蘇地域をどうするかという視点も大事。
H27.11.2(月) 19:00～	熊本	A:単独 B・C:上益城地域との統合	未定	・上益城地域と統合した場合のメリット、デメリットは何か。 (※構想区域のあり方に関する議論が中心で、上益城地域との統合の是非についての意見はなし。)
H27.11.4(水) 19:00～	鹿本	A・C:単独 B:有明地域との統合	単独	・当地域では機能分化が進み、バランスが取れているため、医療圏を変えることに明確なメリットがないのであれば、現行医療圏で進めるべき。
H27.11.6(金) 19:00～	宇城	A・C:単独 B:天草地域との統合	未定	・熊本地域と上益城地域との統合に当地域も加えて欲しい。 ・天草地域との統合も一つの考え方として理解できる。
H27.11.9(月) 19:00～	阿蘇	A:単独 B・C:菊池地域との統合	単独	・菊池地域とは生活圏上の結びつきが弱く、統合は考えられない。

# 各地域における第2回地域医療構想検討専門部会の検討結果

日時	地域	構想区域(案)	大方の方向性	主な意見
H27.11.10(火) 19:00~	芦北	A・B・C:単独	単独	・特になし
H27.11.11(水) 19:00~	球磨	A・B・C:単独	単独	・特になし
H27.11.17(火) 19:00~	八代	A・B・C:単独	単独	・特になし
H27.11.19(木) 19:00~	有明	A・C:単独 B:鹿本地域との統合	単独	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿本地域が単独の意思表示をしていることもあり、当地域も公立玉名中央病院と荒尾市民病院を中核に医療提供体制の整備等に取り組んでいきたい。</li> <li>・ただし、熊大医学部からの派遣医師の供給数を踏まえると、小児科、周産期など診療科によっては鹿本地域と一緒にあって対応していくことが必要。</li> </ul>
H27.11.24(火) 19:00~	天草	A・C:単独 B:宇城地域との統合	単独	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かに当地域の上島から(宇城地域の)済生会みすみ病院への流出があることは認めるが、当地域全体から見れば限定的なもの。</li> <li>・当地域の地理的条件を踏まえれば、宇城地域との統合はあり得ず、単独で検討を進めるべき。</li> </ul>
H27.12.17(木) 19:00~	上益城	A:単独 B・C:熊本地域との統合	熊本地域との統合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹病院がない当地域は、患者流出入のデータからも熊本地域との統合しかない。</li> <li>・病床削減ありきであれば、熊本地域に入れてもらうしかない。</li> <li>・熊本市内の高次機能病院を退院した患者がその近隣病院でのリハビリを経て地元に戻ってきた後に、当該リハビリ病院の訪問看護を継続して受けている状況があるため、地元でできるところはしっかり対応していく必要あり。</li> </ul>

# 大方の方向性が「未定」の地域におけるその後の検討結果

## 1 熊本地域

上益城地域における「熊本地域との統合」の決定も踏まえ、2回の臨時部会で検討。

### 第1回臨時部会 (H28.1.29)

上益城地域の永田会長による同地域での検討結果の説明後、構成員による意見交換を実施。

#### 《主な意見》

- ・ 熊本市医師会員、特に上益城地域と隣接する地域の意見をよく聞く必要あり。
- ・ 統合の是非を判断するためにメリット、デメリットを明示してもらいたい。  
特にデメリットについて、他県の先行事例等を調査し、示してもらいたい。

### 第2回臨時部会 (H28.2.15)

事務局による統合した場合のメリット・デメリット等の説明後、構成員による意見交換を実施。

(※上益城地域・永田会長出席)

#### 【了解事項】

上益城地域との統合については、熊本市医師会と上益城郡医師会で調整し、両者で合意した結果を次回の専門部会に報告する。

## 2 宇城地域

25名の全構成員からの書面での意見表明により、「単独」で決定。

(※2月9日、宇城保健所から報告。)

次の案により、次回の各地域専門部会で審議し、決定する。

- ① 熊本地域及び上益城地域以外の9地域については、  
現行の二次医療圏を構想区域として設定する。
- ② 熊本地域及び上益城地域については、熊本市医師会  
と上益城郡医師会で調整し、両者で合意した内容により  
構想区域として設定する。